

「インフラメンテナンスに係るグッドプラクティス」に
『ひょうご橋守隊』が選ばれました。

国土交通省では、インフラメンテナンスの理念の普及・啓発を図るため、「インフラメンテナンスに係るグッドプラクティス」を平成27年12月から1ヶ月間、募集していました。

今年度、市町橋梁の経過観察を代行した『ひょうご橋守隊』の活動がインフラを支える特に優れた実践事例（グッドプラクティス）として選定されましたので、報告します。

今後も、支援の対象市町を拡大するため、隊員の増員や調査の効率性向上を図りますので、よろしくお願いいたします。

<インフラメンテナンス情報ポータルサイト>

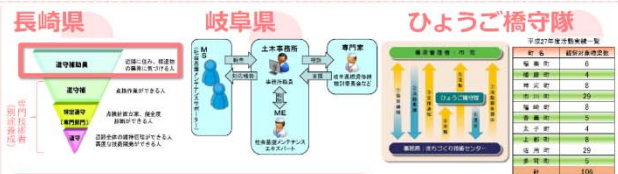
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/O34.html>

<『ひょうご橋守隊』の活動サイト>

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/O34pdf/ko13.pdf>



- 地域の道路や橋梁を地域で見守る、市民や技術職OB参加のボランティア活動
【長崎県道路見守りサポーター／岐阜県メンテナンスサポーター】
- 講習受講により道路の見守り活動に必要な知識を取得した市民から、普段利用している身近な道路の舗装、側溝、橋などの異状について情報提供を受ける
【ひょうご橋守隊】
- 管理者が計画的な補修や架替えを行うまでの間、市町管理の橋梁の損傷状況の経過観察を無償で実施



車上から発見しづらい歩道の異常や、歩かなければ発見できない道路の損傷の発見に、サポーターからの情報は大きく役立っている

平成27年度は技術者が不足している10町（106橋）と協定を結び活動